

# JP139 博多湾 (はかたわん)

福岡県：福岡市

位置	N 33° 37′ E 130° 21′
面積	9,000ha

## 環境構成【干潟／浅海域／淡水湿地／農耕地（後背地）】

博多湾は玄界灘に面した内湾で、干潟、砂浜、岩礁などにより形成された自然海岸である。このため、底生生物、塩生植物など豊かな生物相を有し、後背地となる農耕地を含めて、鳥類の重要な生息地となっている。しかし、都市化の波とともに海岸線の埋立が進み、生物を育む干潟が減少の一途を辿り、和白川と唐原川河口に広がる和白干潟(約 80ha)、多々良川河口(約 30ha)、室見川河口(約 15ha)、そして瑞梅寺川河口に広がる今津干潟(約 80ha) がまとまった形で残るのみとなっている。また、後背地となる農耕地も激減しており、鳥類の生息環境は大きく変化している。一方、内陸部に目を転じると、市街地を挟んだ三方には緑豊かな山々が連なり、博多湾に流れ込む河川とともに重要な生態系の一部をなしている。



写真提供：掛下尚一郎

## 選定理由

A1	クロツラヘラサギ・ズグロカモメ・ウチヤマセンニュウ
A4i	クロツラヘラサギ・トウネン・ハマシギ・アオアシシギ・キアシシギ・ソリハシシギ・チュウシャクシギ

## 保護指定

法的な担保がない、もしくはわずか（10 パーセント未満）である

<保護指定の内容>

国定公園（玄海国定公園）、自然環境保全地域

## 保全への脅威

- ・人工島建設による潮流の変化（和白干潟）
- ・富栄養化による水質の悪化とアオサの増加（和白干潟）
- ・住宅開発に伴う後背地の激減（和白干潟）
- ・干潟の後背地の土地利用の変化による、田畑や湿地、ヨシ原などの減少（今津干潟）

- ・休猟区の期限切れ（保護区への早期編入）（今津干潟）
- ・香椎パークポートの住宅地の隣接と都市化（多々良川河口）
- ・海水の淡水化後の濃縮海水の湾内排水（博多湾東部）
- ・筑後川水系から水道用水を福岡市に供給し、使用後博多湾へ排水することによる、水質の変化
- ・干潟に隣接する後背地の田畑や湿地・ヨシ原などの減少
- ・浅海域での水上レジャーの増加に伴う水鳥の生息域の減少

### 鳥類の個体数、生息環境の現状

- ・ IBA サイトにおける重要な鳥類（IBA 選定基準種）の個体数の変化  
減っている
- ・ IBA 基準種の個体数のカウント調査実施の有無：有  
＜調査データの入手方法＞  
和白干潟を守る会
- ・ IBA 選定基準種の個体数に影響するような、IBA サイト内の重要な生息環境の変化：  
変化がある  
詳細、具体例等：博多湾西部にある瑞梅寺川河口の周辺の湿地・水田・ハス田 の減少、博多湾東部にある和白干潟の後背地である田畑の減少
- ・ IBA 選定基準種の生息環境：  
普通（70～90%が最適の状態）
- ・ IBA エリアの保全管理計画の有無：有

### **保全活動**

- ・ 環境管理：実施者（福岡市）  
内容：博多湾内の水質・底質モニタリング
- ・ 環境教育活動：  
内容：今津地区・和白地区で、毎月探鳥会実施（日本野鳥の会福岡支部）  
自然観察会、クリーン作戦、普及活動（和白干潟を守る会）
- ・ 法律制定、政策、規制  
内容：県指定鳥獣保護区
- ・ モニタリング調査：  
内容：水質・底質・鳥類など（福岡市）  
博多湾および外洋の海鳥調査、報告書作成、博多湾内の能古島およびその周辺の鳥類調査、報告書作成（日本野鳥の会福岡支部）  
調査・保護（和白干潟を守る会）
- ・ その他：

- \*福岡市環境審議会・同環境審査会等への委員派遣、ブログによる広報活動（日本野鳥の会福岡支部）
- \*博多湾西部の今津干潟を保全していくために、福岡市が呼びかけた今津干潟懇話会がある。
- \*NPO 法人日本環境監視協会が博多湾再生市民フォーラムを年に1～2回開催している。
- \*博多湾東部のアイランドシテイー周辺は、福岡市のエコパークゾーンに指定（国設鳥獣保護区を含む）されており、その一部（12 ha）に野鳥の生息を考えた公園（アイランドシテイはばたき公園）の設置が具体的に推進されつつある。

### IBA サイトの保全に関係する地域のグループ

- ・日本野鳥の会福岡支部
- ・和白干潟を守る会
- ・NPO 法人日本環境監視協会

### 見られる鳥

春秋の渡りおよび越冬期に多く見られ、ミヤコドリ、メダイチドリ、コチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、ミユビシギ、トウネン、ハマシギでは最小推定個体数の0.5%以上が記録されている。カイツブリ類、ウ類やカモ類等の多くの水鳥が採餌と休息にくる。

留鳥	カイツブリ、カルガモ、ダイサギ、コサギ、カワセミ、シロチドリ、ミサゴ、ヒバリ、セツカ、ウグイス、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、カワラヒワ、イカル、ホオジロ、カササギ
夏鳥	チュウサギ、アマサギ、コチドリ、コアシサシ、ホトトギス、サシバ、オオヨシキリ、オオルリ、キビタキ
冬鳥	カンムリカイツブリ、ツクシガモ、マガモ、オカヨシガモ、ハシビロガモ、オシドリ、ヨシガモ、オナガガモ、キンクロハジロ、ウミアイサ、セグロカモメ、ズグロカモメ、ユリカモメ、クロツラヘラサギ、ヘラサギ、ミヤコドリ、アオアシシギ、ハマシギ、タシギ、ツリスガラ、ジョウビタキ、ルリビタキ、ツグミ、ミヤマホオジロ、オオジュリン、マヒワ、ミヤマガラス
旅鳥	ウズラシギ、ソリハシシギ、ミユビシギ、アオアシシギ、キアシシギ、オオジシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、チュウシャクシギ、ハチクマ、コマドリ、ムギマキ、コサメビタキ
迷鳥	コクガン、マガン、カラシラサギ

## 関連団体・自治体・施設等

- ・和白干潟を守る会
- ・日本野鳥の会福岡支部

